

第5学年 図画工作科学習指導案

5年2組 23名

指導者 竹内 拓也

授業場 5年2組教室

1 題材名 心のまどから見てみると

「B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、(1)イ」

2 研究主題とのかかわり

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、ICTの効果的な活用

3 題材設定の理由

本題材は、学校にあるものを写真に撮り、お互いの写真を見て伝え合うことで、自分の見方や感じ方を深めることをねらいとしている。写真に対して「いいね!」と思ったポイントを伝えることで、自分や友達の見方や感じ方、発想のおもしろさに気付かせたい。また、互いに鑑賞することで、自分の作品のよさや美しさにも改めて気付かせ、自分の作品への愛着を深めたい。一人で鑑賞する時間と友達と話し合い交流する時間を設けることで、自分と他者の視点を往還しながら見方や考え方を広げ、色や形とより深く関わっていけると期待する。さらに、色や形にこだわったり、〇〇のように見えると見立てたり、写真の構図を工夫したりといろいろな試しながら、作品のよさや美しさを見つけることを通して、自分の見方や感じ方を広げ、色や形と深く関わっていく力を育てたい。そのため、友達の作品を見るときに、色や形、構図、表現の工夫などを基に感じたことを伝え合える活動を設定する。初めて友達の作品に出会ったときの驚きや感動を大切にしたいと考えている。そして、自分の見方や感じ方が変化する面白さや自分の思いが伝わる喜びも感じて欲しい。

本学級の児童は、学習活動に意欲的に取り組んでいる。その中でも図画工作科が好きな児童は多く、図画工作科の時間を心待ちにしている。自分の表したいことを表現することが好きな児童がいる一方で、自分の表現したいことがなかなか思いつかず手が止まってしまう児童もいる。また、粘り強く取り組むことが難しい児童もいる。そこで、児童の身近な存在である学校を舞台にして何枚か写真を撮ることで、どの児童も取り組みやすくなると考えた。自分なりのこだわりをもって撮影すること、友達に見せるための写真を選ぶこと、お互いに鑑賞すること、それら全ての活動をどの児童も楽しめると考えた。

指導に当たっては、時間によって変化する光の色や影の形、普段自分が何気なく見ているものが見方によって全く違ったものに見えること、形や色の組合せによる見え方の違いなどに気付かせることで、児童の自分なりの見方や感じ方ができるようにしたい。また、児童用タブレット端末を活用することで、全員の作品を自由に見ることが可能になる。どの作品にも書き込みができるので、「いいね!」ポイントをつけた箇所がすぐにわかり、それを基に友達とかかわり合いながら互いの見方や感じ方を深めていきたい。

4 題材の目標

- (1) 互いの作品を見て、自分なりの意味や価値を見いだしたり、友達の感じ方に触れたりして、色や形などの造形的な特徴がわかる。
(知識及び技能)
- (2) 形や色などの造形的な特徴を基に自分なりのイメージをもちながら、互いの作品のよさや特徴、表現の工夫を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) つくりだす喜びを味わい、主体的に互いの作品を鑑賞し、友達との対話を通して、見方や感じ方を深める学習活動に進んで取り組もうとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
互いの作品を見て、自分なりの意味や価値を見いだしたり、友達の感じ方に触れたりして、形や色などの造形的な特徴がわかっている。	形や色などの造形的な特徴を基に自分なりのイメージをもちながら、互いの作品のよさや特徴、表現の工夫を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい、主体的に互いの作品を鑑賞し、友達との対話を通して、見方や感じ方を深める学習活動に進んで取り組もうとしている。

6 指導計画（全6時間 本時 5／6）

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	・教室の中で、自分が「いいね!」と思った写真を撮る。 ・撮った写真の中から1枚を選び、題名をつける。	思 ○ (発想や構想) 知 ◎	・自分なりのテーマで写真を撮っているか観察する、つぶやきを捉える、撮った写真を見るなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かす。 (観察・対話・作品) ・自分のイメージをもちながら、自分が撮った写真に根拠をもって題名をつけているか観察する、つぶやきを捉える、問いかける、ワークシートを見るなどして学習状況を把握し、記録に残す。 (観察・対話・作品・ワークシート)
2	・友達の作品の特徴を考える活動を通して、学級全体で話し合い、感じたことや考えたことを伝え合うことで、作品の	思 ○ (鑑賞)	・作品の特徴やよさ、表現の意図を考えているかどうか問いかける、活動の様子を観察し、児童の学習状況を把握し、指導に生かす。 (観察・対話・作品)

	特徴やよさ、表現の意図を味わう。		
3 4	・学校内で、自分が「いいね!」と思った写真を撮る。 ・撮った写真の中から1枚を選び、題名をつける。	思 ○ (発想や構想) 知 ◎	・色や形などを基に自分なりのテーマで写真を撮っているか観察する、つぶやきを捉える、撮った写真を見るなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かす。 (観察・対話・作品) ・色や形などを基に自分のイメージをもちながら、自分が撮った写真に根拠をもって題名をつけているか観察する、つぶやきを捉える、問いかける、ワークシートを見るなどして学習状況を把握し、記録に残す。 (観察・対話・作品・ワークシート)
5 (本時)	・学級全体でお互いの作品を鑑賞し、感じ取ったり考えたりしたことを伝え合い、見方や感じ方を深める。	思 ◎ (鑑賞)	・友達の作品を見て、感じ取ったり考えたりしたことを話し合っている様子を観察する、問いかける、ワークシートを見るなどして学習状況を把握し、記録に残す。 (観察・対話・作品・ワークシート)
6	・前時に紹介できなかった作品を鑑賞し、感じ取ったり考えたりしたことを伝え合い、感じ方の違いを味わう。	思 ◎ (鑑賞)	・友達の作品を見て、感じ取ったり考えたりしたことを話し合っている様子を観察する、問いかけるなどして学習状況を把握し、記録に残す。(観察・対話・作品・ワークシート)

○題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し、記録に残す。

7 本時

(1) 目標

互いの作品を鑑賞し、作品のよさを伝え合うことを通して、自分の見方や感じ方を深める。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 ○評価【観点】(評価方法)
5 分	1 学習活動の見通しをもち、本時のめあてを確認する。	・前時の学習を振り返り、本時の学習に意欲的に取り組めるように声をかける。
	「いいね！」ポイントを伝え合おう！	
10 分	2 友達の作品を見て、「いいね！」ポイントに印をつける。	・MetaMoJi を活用し、友達の作品を手元で互いに鑑賞できるようにする。作品の特徴や表現の工夫を見つけられるように観点を伝える。
20 分	3 自分がつけた「いいね！」ポイントを伝える。 ・学級全体で伝え合う。 ・近くの児童と伝え合う。	・友達の作品の「いいね！」ポイントを伝える際、色や形、構図、表現の工夫などを基に自分の感じたことを伝えられるようにする。 ○根拠をもって自分の感じたことを伝えている。 【思考・判断・表現(鑑賞)】(観察・対話・作品)
10 分	4 本時の振り返りをする。	・友達の意見を基に、作品の色々な見方に気付くことができるようにする。 ○友達の感じ方を基に振り返り、見方や感じ方を深めている。 【思考・判断・表現(鑑賞)】(観察・ワークシート)

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	作品を見て、意見を伝え合う中で、新たな見方や感じ方に気付くことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	よさを見つけられていない児童に、「いいね！」ポイントを見つけられるよう、形や色などを意識するように声をかける。 ペア活動を取り入れ、友達と交流しやすい場を設定する。

第5学年分科会

公開授業記録

徳島市内町小学校 竹内 拓也

題材名 心のまどから見てみると 「B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、(1)イ」

- 目 標**
- (1) 互いの作品を見て、自分なりの意味や価値を見いだしたり、友達の感じ方に触れたりして、形や色などの造形的な特徴がわかる。 (知識及び技能)
 - (2) 形や色などの造形的な特徴を基に自分なりのイメージをもちながら、互いの作品のよさや特徴、表現の工夫を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 (思考力、判断力、表現力等)
 - (3) つくりだす喜びを味わい、主体的に互いの作品を鑑賞し、友達との対話を通して、見方や感じ方を深める学習活動に進んで取り組もうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

展 開 (本 時 5/6)

教 師 の は た ら き か け	児 童 の 反 応
1 今日までに3日間写真を撮って作品を仕上げてきました。その中で一番いいと思った「スペシャルいいね!」を選びました。 ○今日のめあては 「いいね!」ポイントを伝え合おう! ○友達の作品を見て、「いいね!」ポイントをお互いに伝え合ってほしいと思います。 2 「いいね!」ポイントって何だったかな。 ○友達の作品の「いいね!」ポイントをたくさん見つけてほしいと思います。 ○ワークシートを見てください。題名と自分の作品の「いいね!」ポイントを書きましたね。「いいね!」ポイントは絵でも文章でもいいと伝えたいと思います。 ○今からタブレットで全員分の作品を見られるようにします。 ○誰の作品かはわからないようにしているので、みんなの作品の「スペシャルいいね!」	○グラデーション、アップとルーズ、色、影、角度、構図、光、形、上下左右、時間、 ○○みたい、不思議、美しさ。 ○誰の作品かわからない設定。

を見つけてください。

○特にいいと思った3作品を選んで、「いいね！」ポイントを絵でも文章でもいいのでワークシートに書きましょう。

○タブレットで見られるようにしたので、拡大をしたり縮小したりしながら見てください。

○ホワイトボードに一覧表も用意したのでこちらも見てください。

○10分間で作品を選んでください。

3 いっぱい見つかったかな。

○では□□さん、何番の写真を選びましたか。

○みんなも8番の作品を見てください。8番の人のどこが「いいね！」ポイントですか。

○「指す」の機能を使って丸をつけて、ここが「いいね！」ポイントというのを発表して。

○なるほど。他に8番選んだ人いますか。

○□□さんはどうですか。

○どこを撮ったと思いますか。

○わからないからどう感じますか。

○次□□さんどうですか。

○次□□さんはどうかな。

○□□さんはどうですか。

○みんなの反応から、言われてみればそう感じたかな。

○あと一人にします。

○ではこの作品を撮ったのは誰でしょう。

○△△さんでした。

○自分はどの部分のことを「いいね！」ポイントに書いていたかな。

○3つでは足りません。



○はい。

○8番。

○同じです。

○穴が何重にも重なっているからきれい。

○白からピンクになっているのがきれい。

○はい。

○めっちゃいる。

○どこかが全く分からず、真ん中がピンクできれい。

○わからない。

○おもしろい。

○穴がマンションの窓みたいですてき。

○重なっていて色がどんどん濃くなって暗くなっていくから怖い感じ、おもしろい。

○穴がハチの巣みたいに見える。

○おお、確かに。

○端の光の当たり方がきれい。

○確かに。

○パンの袋を留めるやつにも見える。

○どこを撮ったのだろう。

○反射して鏡みたいになっているから。

○言われたらそうやな。

○みんなはこの作品、どこを撮ったのだと思いますか。 ○△△さん、みんなが言ってくれてどう思いましたか。 ○みんなは△△さんの説明を聞いてどう思いましたか。 ○この作品は何て題名だと思いますか。 ○△△さん、何てつけたの。 ○どういうイメージでつけたのですか。 ○もう一人、○○さん。何番。 ○どこが「いいね！」ポイントと思った。 ○他の人はどう思いましたか。 ○そう見えてどう感じた。 ○これを撮ったのは△△さんでした。自分の作品のどこが「いいね！」ポイントかな。	○あとは真ん中にかけて色濃くなってグラデーションみたいになっている。撮り方も斜め上から。 ○教室の端のかごとと思う。 ○活動室にあるかごとです。 ○ああ、あれか。 ○ハチの巣と言われて、そう見えるなと思った。怖い印象が意外だった。自分は不思議な印象と思っている。 ○確かに言われてみればそう思った。かごを撮っているとは思わなかった。 ○斜めだから何重にも重なって見えるのだなと気付いた。 ○「かご」「鏡の中」「グラデーション」。 ○「合わせ鏡」。 ○鏡は合わせたら何重にも見えるから。あと、光に反射しているところが鏡みたいに見えるから。 ○なるほど。 ○7番。 ○何で2枚写真があるのだろう。 ○太陽の光でボヤってなっているところがきれい。 ○どちらもメインが光の部分で、ふだん見ないところを作品にしている。 ○扉から何かが出て行っているように見えた。 ○おもしろいなと思った。 ○いろんな場所で同じような光を見つけたから、2枚選ぶことでいろんなところをうろついているように見えた。 ○周りも入れることで日常に本当にいるようにした。 ○見上げるようにして撮って、大きい感じにした。
---	--

○みんなが言ってくれたのを聞いてどう思いますか。

○この明かりの部分、何だと思いますか。

○タイトルは何だと思いますか。

○△△さんタイトルは。

4 みんなも自分の写真について言いたいですよね。

○グループで相手にどこが「いいね！」ポイントか伝えてもらってから、自分の作品の説明をしてください。

○そこまでにします。

○友達に自分の作品の「いいね！」ポイント言ってもらったよね。聞いたあとと自分の作品を見て、印象が変わりませんか。

○それをワークシートの「ふりかえり」に書いてください。

○「ふりかえり」にどんなことを書きましたか。

○みんなと作品を見せ合って自分の作品のスペシャル度がアップしたかな。今日は全部を見ることができなかったなので、次の時間は他の子の作品を見てもらおうと思います。

○日常を撮ったつもりだったけど、みんなからしたら意外な場所と感じられるのだと思った。

○幽霊、神様、お化け。

○「うろついてる太陽」「光」「お化け屋敷」「怪獣」

○「幻の怪獣のおしりと顔を大発見」。

○他の人の題名も気になるな。



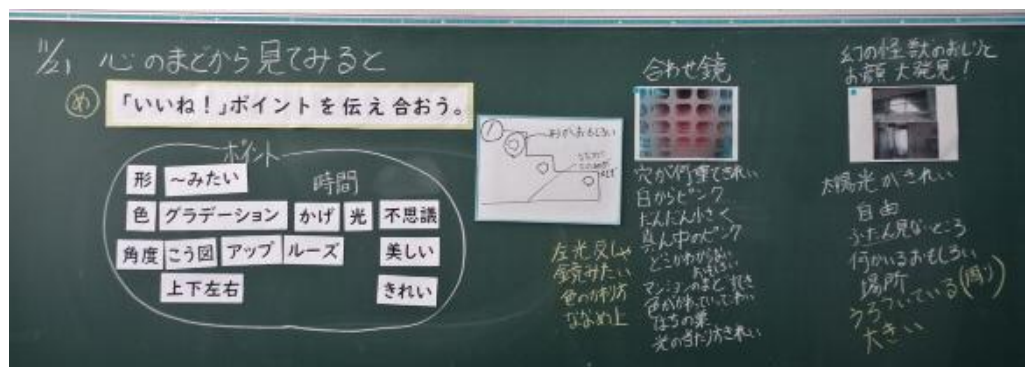
○もっと他の人にも教えたい。

○変わりました。

○自分には見えてなかった見方を言ってもらい、確かにそう見えた。

○「いいね！」ポイント言ったとき、「ああ、なるほど」と言ってもらってうれしかった。みんなの作品もとてもいいと思った。

板書等



1 課題点

- (1) 授業展開について
- (2) 撮影に関して
- (3) 鑑賞作品の選定について
- (4) 鑑賞という領域について

2 解決の一方策

<課題点(1)について>

- (1) クラス全体で話し合うより、グループが話しやすいのではないかと質問に対し、授業者からは、「前半にクラスでの話し合い、後半に少人数での話し合いの予定であったが、前半部分に時間を取り過ぎてしまった。一応時間配分は決めていたが、いい意見がたくさん出ていたので、もっと聞きたいと思って進めていたら、時間配分に失敗してうまくいかなかった。最後の振り返りは、自分の作品について語ってもらって、もう一度自分の作品に戻って見方がどう変わるのかなということが書けるといいなと思った。」と回答があった。クラス全体の鑑賞もグループでの鑑賞もそれぞれのよさがある。1単位時間の中で多様な活動を計画する場合は、児童の実態を踏まえた上で、活動の順序や質、時間配分等を考える必要がある。また、授業の流れの中で、児童の活動の様子や意欲を見取り柔軟に対応しつつ活動を組み立てなければならない。そのために児童の姿を事前に予想しておくことや発問の精選等、入念な準備が必要ではないか。
- (2) 今後の授業の展開としては、全員分の作品の鑑賞、「『いいね!』ポイント」や題名の共有等、全体場で一人ずつ自分が撮影したものを伝える活動をし、その後、校内の撮影場所に展示して他学年にも見てもらう予定している。このように、授業時数も計画に入れつつ、展示等、題材後の鑑賞活動も生かすような授業展開を考えることが重要だ。

<課題点(2)について>

- (1) 教室では「もの」、学校内では「空間」などをアップで撮ってみたり、玄関など見慣れた「場所」を選んだりする児童もいて「『いいね!』ポイント」の視点も入っていったようだ。教室から学校全体へと活動場所を広げることが、児童の鑑賞の視点を増やしたり、より確かなものにしたりすることにつながったのではないか。
- (2) 今回は撮影のために、三日間を使った。まず、授業内で15分程度、次に、1組で撮影された作品を見せた後に授業内で20分程度、最後に、休み時間を使って設定した1日の中で自由に撮影を行った。他の題材や年間授業時数を考慮すると時数や時間配分には注意が必要である。しかし、お互いの鑑賞にとって重要な要素であるため、時間をかけて撮影したことが、今回の活発な鑑賞活動に繋がったのではないか。

- (3) 校内で撮影する前に、先に教室で「一台の椅子」というテーマで撮影してみた。上から撮っていたり、下から撮ったり、アップにしてみたりといろいろな撮影パターンを見て「じゃあ、こう撮ってみよう」と気付きある児童もいた。撮り方についてのアドバイスなどもそのときに行った。作品を撮影する際に意識してほしい鑑賞における造形的な視点や撮影の方法を、全体で確認してから校内での活動に広げたことが有効だった。

<課題点(3)について>

- (1) 本実践では、児童が三つの作品を選ぶようにした。そこには、指導者の授業の展開を考慮した意図や、鑑賞における造形的な視点への気付きを促すねらいがありよかった。作品の選定は重要で、指導者の授業の構成や展開における意図や造形的な視点も考慮しながら、質や量を決めるとよい。
- (2) 8番の作品を代表作として選択した図は、形や色、グラデーションなどから児童が選んで発言しやすいだろうと思われたからであり、7番については光の取り入れ方が工夫されているからであった。このように、児童の資質・能力の高まりを意識した作品の選定が必要である。

<課題点(4)について>

- (1) 第5学年及び第6学年の「B鑑賞」の目標は、「親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。」であり、本日の授業の中では十分感じ取ることができていた。作品の表現者(作者)の表現意図を想像しながら、その作品の造形的な要素を考えていた。また、しっかり向き合って感じたことを友達と共有することで、作品を比較しながら鑑賞することができ、造形的な見方・考え方を広げたり深めたりすることができていた。

3 今後の課題

- (1) 芸術的な作品を見ての鑑賞ではなくても、自分で表現してみたもの、撮影してみたものを見て、色や形、光といった造形的な要素を意識しながら撮影した画像は、鑑賞活動の対象となると考えられる。目標にある「生活の中の造形」は児童を取り巻く生活の中にある様々な造形のことを示しており、それらについても鑑賞していく機会を設ける必要がある。今回感じたり考えたりしたことを次の表現につなげていくことが大切である。表現と鑑賞を関連付けるという意識を授業者がもって指導することで、図画工作科だからこそ身に付けることができる資質・能力を育んでいくことができると考えられる。

文責 宮井小学校 江藤 節子

文責 附属小学校 川真田 心